

早川田のわたし・早川田河岸

江戸時代に整備された江戸と日光を結ぶ道路「日光脇往還」が館林市を通っていました。その中で、渡良瀬川を渡る場所に、「早川田のわたし」がありました。当時はまだ橋が架かっていなかったのが「渡し船」が出ていました。明治時代になって、「舟橋」(舟を並べた上に橋を架けたもの)がかけられました。その後、1934(昭和9)年に渡良瀬大橋が架けられました。

また、このあたりには「早川田河岸」という船で荷物を運ぶための「港」がありました。この場所にあるたくさんの「馬頭観音」は、ここに荷物を運んできた馬がたくさん集まっていたことを表しています。



↑これ全部、馬頭観音。写真の左側にもずらっと並んでいて、全部で13体ありました。

最大のもので元気そうに走り回る馬がほられていました。後ろに見えるのは渡良瀬大橋です。つまりここは河原。よく今まで流されずに残っていたなと感心しました。